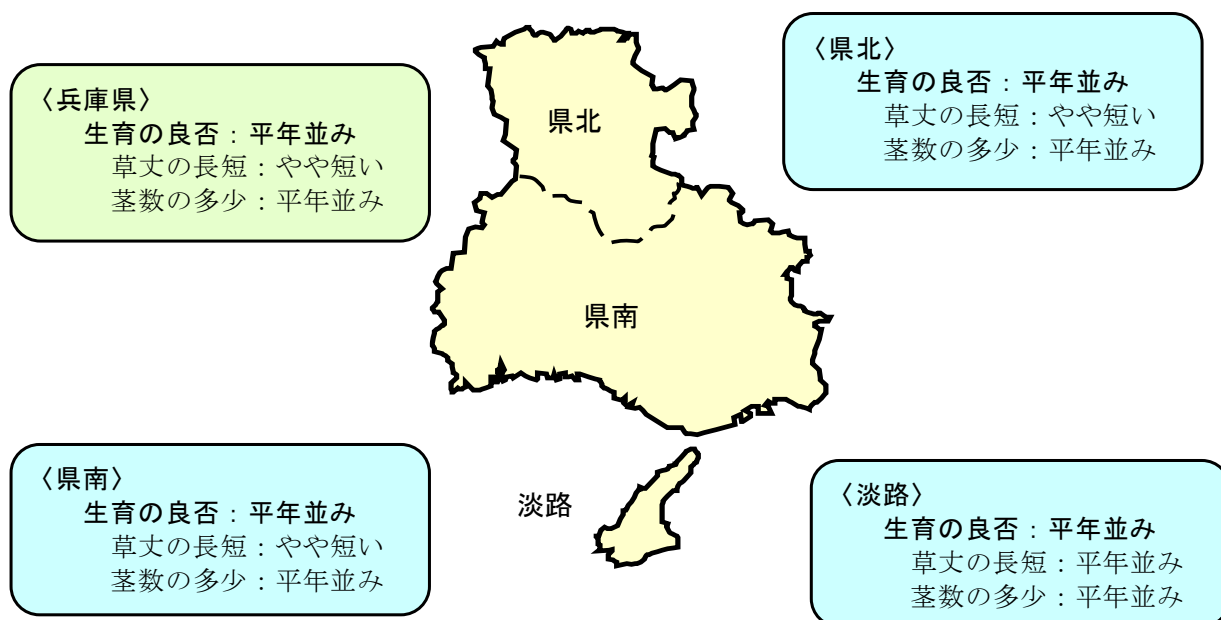


平成30年産水稻の8月15日現在における生育状況（兵庫県）

－ 生育は「平年並み」 －

- 1 田植最盛期は、おおむね天候に恵まれたことから、県南で「平年並み」、県北、淡路で平年に比べ2日、1日それぞれ早くなり、兵庫県では1日早くなった。
- 2 生育は、県南、県北で草丈が「やや短い」、茎数が「平年並み」となったことから「平年並み」となった。
淡路では、草丈・茎数ともに「平年並み」となったことから「平年並み」となった。
このことから、兵庫県の生育は「平年並み」で推移している。
- 3 出穂最盛期は、6月下旬以降、高温・多照で経過したことから、県南、県北で平年に比べ4日、7日それぞれ早くなり、兵庫県では4日早くなった。

図 作柄表示地帯別の生育状況（8月15日現在）



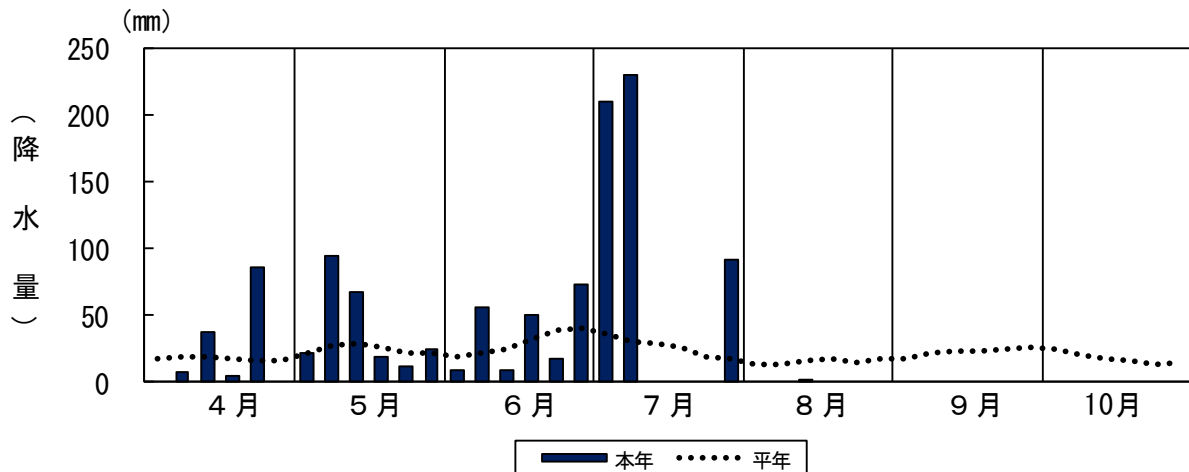
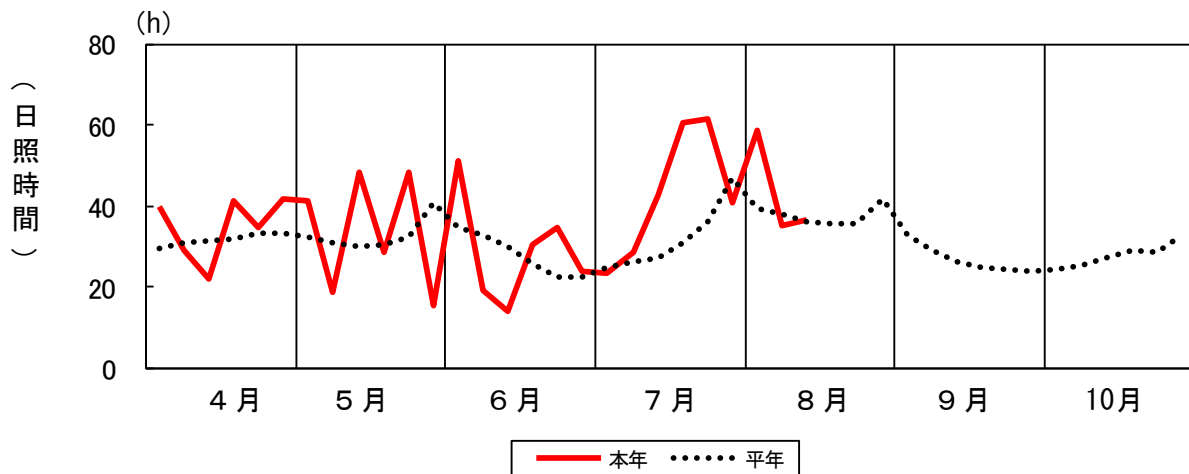
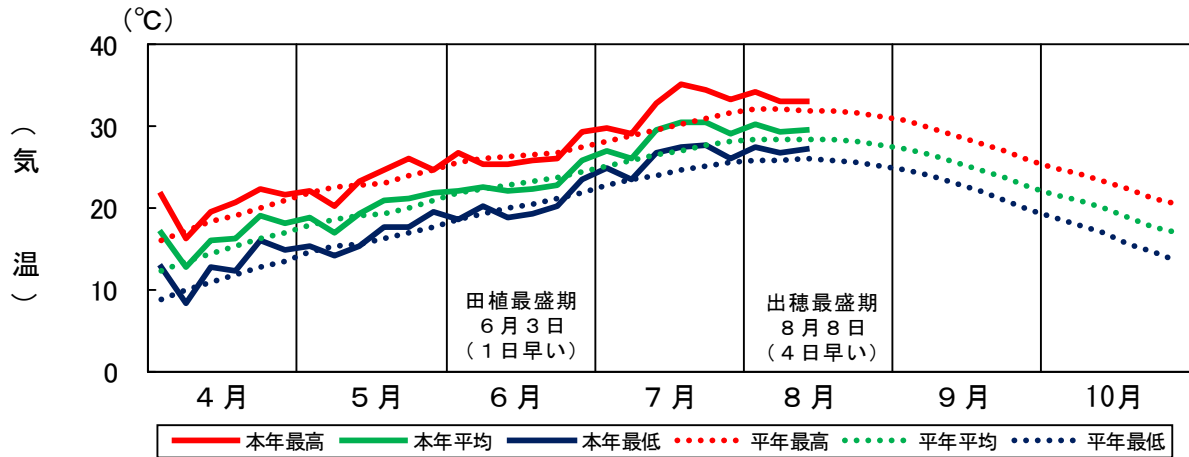
- 本調査の生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況等を総合して、8月15日現在における稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。
- この資料は、「平成30年産水稻の8月15日現在における作柄概況及び生育状況（近畿）」（平成30年8月31日公表）の補足資料として作成したものである。

本資料は、近畿農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2018.html> 】

【参考】

兵庫県（神戸市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注：田植期及び出穂期の最盛期は、県平均の期日である。

なお、()内は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 兵庫県拠点 統計チーム

電話：(代表) 078-331-9941 内線 266

(直通) 078-391-2873

FAX：078-392-7558